

太陽光発電事業者の皆さまへ 冬季の電力需給逼迫予測を受けた対応のお願い

2021年1月の電力需給逼迫に際して、太陽光発電事業者の皆さまにおかれましては、電力供給量の最大化に向けた取り組みにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。今般、10月26日に開催された電力・ガス基本政策小委員会において電力広域的運営推進機関（OCCTO）から提示された資料では、**2021年度冬季の電力需給逼迫の見通し**が示されています。こうした予測を受け、昨冬に引き続きASPEnとして太陽光発電事業者の皆さまに電力需給逼迫への対策に向けてご協力をお願いしたい事項をお伝えします。

1. 電力需給逼迫の予測

OCCTOの試算によると、12月から2月にかけて平年より気温が1～2℃低い厳気象となった場合、全国で約3.3%の需要増加が生じることで、東京電力管内では1月と2月に供給予備率が3%を僅かに超える水準となり、中部・北陸・関西・中国・四国・九州の各電力管内でも2月には3%台の供給予備率となることが予測され、過去10年間で最も厳しい状況になるとしています。

2. 需給逼迫予測への対応

この事態を受けて資源エネルギー庁から示された対策案では、発電事業者に対する保安管理の徹底、計画外停止の未然防止の要請が盛り込まれています。私たち太陽光発電事業者も社会インフラの一翼を担う事業者として、今冬に予想される電力需給逼迫への対策に最大限の貢献を果たす必要があります。太陽光発電事業者の皆さまにおかれましては、冬季に向けた保有発電所の運転状況の点検を実施し、管理・運営されている発電所の状態を常に良好に保つことで、電力供給量の最大化に尽力いただきますようお願いいたします。

【参考】太陽光発電システム保守点検ガイドライン

<https://www.jpea.gr.jp/wp-content/themes/jpea/pdf/t191227.pdf>

【参考】2021年度冬季の電力需給見通しを踏まえた需給ひっ迫・市場価格高騰対策

https://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/electricity_measures/winter/

【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人太陽光発電事業者連盟（ASPEn）

〒104-0031 東京都中央区京橋1-6-13 金葉ビルディング6F

info.pv@aspen.or.jp

<https://aspen.or.jp/>